



2012. 6月発行 No.64

東北森林管理局 藤里森林センター

〒018-3201

秋田県山本郡藤里町藤琴字大関添 24-3

Tel 0185-79-1003 Fax 0185-79-1005

eメールアドレス fujisato@rinya.maff.go.jp

白神山地世界遺産地域巡視員会議の開催

白神山地世界遺産地域巡視員会議（秋田県側）が6月1日（金）八峰町ファガスで開催され、遺産地域連絡会議の関係機関をはじめ巡視員、関係市町の担当者ら42名が出席しました。はじめに連絡会議を代表し、東北森林管理局計画課長より「巡視員をはじめ地域の皆様の努力により良好な管理が出来てきている。しかし、一部の方による立木の損傷事案が依然として発生している。引き続き安全と健康に留意し、適切な巡視活動をお願いします」と挨拶があり、続く出席者紹介の後、



白神山地世界遺産地域巡視員会議
(八峰町文化交流センター・ファガス)

巡視員を代表して後藤千春氏へ新しい委嘱状が授与されました。今回の会議では交代等により、新たに5名に巡視員が委嘱され、秋田側の巡視員は28名となりました。続いて、関係機関から今年度の事業計画が説明され、東北地方環境事務所が、今年度から10年程度においてモニタリング計画に基づく調査を実施していくこと、藤里町が、小岳・駒ヶ岳縦走ルート整備事業として、駒ヶ岳登山道から小岳までの縦走ルートを現地調査し、整備を進めていくこと、八峰町では、現在認定を目指している日本ジオパークの要素も加えたガイド養成講座を予定していること等が紹介されました。

その後、事務局から、巡視員の活動にかかる留意事項、入山マナー向上対策、今年度合同パトロール

予定などについて説明がありました。

意見交換では、駒ヶ岳樺岳登山道の整備促進や、岳岱歩道の管理などについて意見がありました。

午後からの講習会では、樹木医である逢坂淳氏、馬場信一氏の両講師による樹木の基礎・スズメバチなどの対応策・ロープワークについての講義が行われ、近い将来において白神山地にナラ枯れ被害が発生した場合の被害対策や、現地でスズメバチに遭遇した時の対策等に質問が集中し、参加者の方々は熱心に耳を傾けていました。



講習会でのロープワーク指導

岳岱自然観察教育林・仁鮎水沢スギ植物群落保護林 の歩道を整備しました！！

昨年度実施した藤里森林センター施設整備事業において、岳岱自然観察教育林内のウッドチップ歩道の増設や古くなった木道の改設を行いました。

ウッドチップ歩道はブナ二次林を散策できる約340mを増設し、歩行が困難な方や体力に自信がない方にも、もっと岳岱の自然を満喫してもらえるようにしました。林内で日陰が多いことから路面の耐久性を高めるため、ウッドチップにゴムチップを30%の割合で混合させて施工しました。

歩道脇ではブナやシナノキの巨木を間近に見ることができ、台地上の広場からは三蓋山が望まれ、耳をすますと溪流のせせらぎを感じることができます。

木道はモリアオガエルの池の前をとおりる散策路約300mを改設しました。今までの木道よりも幅を広くしており、足を踏み外すことなく安心して散策していただけます。

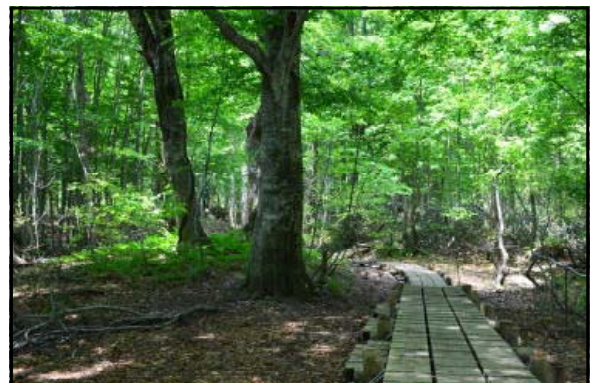
散策路の分岐箇所には案内標識や方向指示標識を設置し、わかりやすくしました。また、広場には休憩していただけるようにベンチも設置しました。

仁鮎水沢スギ植物群落保護林内についても、古くなった階段や木橋、木道の改設を行いました。同じく古くなった案内板も改設し、わかりやすくしました。また、東屋も屋根を補修し、東屋内には新たにウッドチップを敷き詰め、椅子やテーブルも補修を行い、気持ちよくご利用いただけるようになりました。

岳岱のブナ林と仁鮎の天然秋田杉林を訪れる多くの方々が安心して自然に親しみ、リフレッシュしていただけるよう 保全管理していきたいと考えています。



二次林に増設したウッドチップ歩道（岳岱）



新しくなった木道（岳岱）



新しくなった木道・木橋（仁鮎）



新しくなった案内板（仁鮎）